

総合的な探究の時間の第1の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。
(2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

学校の教育目標

スローガン『My New Story ~自らが作り出す未来~』のもと、体力と気力に満ち情操豊かな人間力を備え、地域に貢献し地域を牽引できる「人財」を育成する。

- 重点目標
1 学習意欲の高揚、学力向上に向けた授業改善
2 生徒指導の総合的推進と「心の教育」の充実
3 キャリア教育・進路指導の充実
4 環境教育の充実と特別活動の活性化
5 「道徳」教育の充実と「生きる力」の育成
6 学校安全計画の策定と学校安全の意識の向上
7 働き方改革の推進

各学校で定める目標と育成する資質・能力

- I 確かな学力を身につけ、活用することができる資質・能力
II 自分で考え、判断し、人に伝えることができる資質・能力
III 他人を思いやり、自らも学ぶことができる資質・能力
IV 社会的自主性・自律性を身につけ行動できる資質・能力
V 正しい情報を活用できる資質・能力

総合的な探究の時間の学習評価

- ・探究ノート、レポートなど、生徒が作成した探究活動のポートフォリオを評価の対象とする。
・中間発表、最終発表のパフォーマンスを評価の対象とする。その際、市役所職員の意見も参考とする。
・ポスター、パンフレットなどが学校HPに掲載された場合は、評価の対象とする。

生徒の実態

- ・素直で礼儀正しい生徒が多い。
・消極的で主体性が低い生徒が多い。
・思いやりと感謝の心を持ち、礼節を重んじることができる。
・多くの生徒が進学を希望する。

生徒の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする生徒への指導

- ・どのような配慮を要するのか、生徒や保護者のニーズに応じた指導を個々に行う。

目指す生徒の姿

- ・長所を生かし、地域に貢献できる人財となれる生徒
・自発的な態度、自立心、諦めない精神力を発揮できる生徒
・協働による創造のできる力を身につけた生徒

各学校が定める内容(目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力)

探究課題「高校生という立場から、地域に貢献する」

- (1) 知識及び技能
・課題を発見し、他者と協力しながら探究し、解決する能力
(2) 思考力、判断力、表現力
・自分で考え、情報を収集・判断し、人に伝えることができる能力
・社会と関連付けながら、自分のライフプランを作成する能力
(3) 学びに向かう力、人間性等
・郷土を愛し、主体的に地域に貢献しようとする態度
・社会の一員としての自覚を持ち、自律して行動する態度

学習活動、指導方法等

- A) SNS や情報の取り扱い
・Society5.0の時代に向けて、探究活動を通して個人情報や著作権、画像、動画などSNSや情報に関わることについて深く考察させる。
・アプリなどを使用し、プレゼンテーション能力や情報の収集、整理・分析の技術を向上させる。
・これからの時代に必要な情報活用能力を身につける。
B) 外部機関との関わり
・筑西市役所の方と連携することにより、多角的な視点から物事を考えることを学び、広い視野と感性を育成する。
C) 地域貢献活動
・地域を知り、地域に貢献することにより、郷土愛や愛校心を育み、社会の中で自己実現していく喜びを実感する。自分と他者と意見をすり合わせて課題を発見し、探究していく過程で、課題の発見、情報収集、整理・分析、まとめ・表現といった探究のスキルを身に付ける。

指導体制(環境整備、家庭・地域との連携)

- ・筑西市役所との協力体制の確立(人口対策課、観光振興課など)と探究活動に対しての計画的な外部講師の依頼
・広報活動による家庭および地域住民の方々の学校への理解と信頼づくり
・担当教員間の会議の充実と全職員で探究に関わる体制
・探究の指導スキルの向上のための教員研修
・学外活動における生徒の安全確保
・情報収集・発信の際の個人情報・著作権などに関する指導